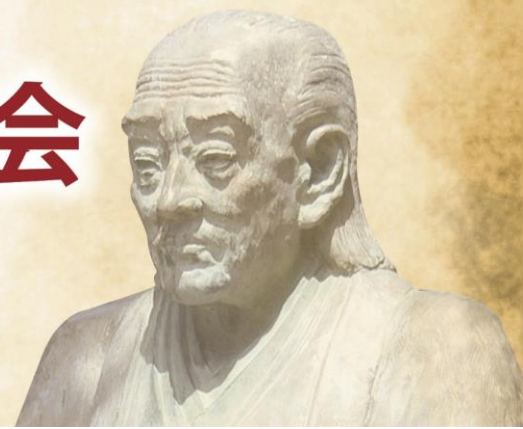


第127回日本解剖学会総会・全国学術集会

2022年3月27日(日)～29日(火)



3月27日(日)13:30～15:30

SA01 ダイバーシティ推進のために学会に何ができるか(ダイバーシティ推進委員会)

1. 研究と多様性

演者: 元村有希子 (毎日新聞)

2. ダイバーシティ推進のために学会に何ができるか

パネリスト: 江角重行、大隅典子、大野伸彦、向後晶子、清水千草、室生暁、服部祐季

座長: 井関 祥子 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科)

和氣 弘明 (名古屋大学大学院 医学研究科)



多様性を意味する「ダイバーシティ」という言葉とその推進が、一般社会において重要性を増している。研究者の社会が、多様な状況や価値観を尊重しながら発展していくためにはどのような取り組みが必要となるだろうか。

2021年4月、日本解剖学会男女共同参画委員会は今後の活動の幅を広げていくことを目指し、ダイバーシティ推進委員会と改称した。本総会では委員会のキックオフシンポジウム「ダイバーシティ推進のために学会に何ができるか」を開催する。

毎日新聞デジタル報道センター編集委員の元村有希子氏に「研究と多様性」というテーマでご講演をいただく他、元村氏を含めたパネルディスカッション、委員会企画イベントも予定している。